

研究協力のお願い

JA とりで総合医療センターの看護部で下記の看護研究を行い、学会発表をおこないます。研究目的や研究方法は以下のとおりになりますが、研究発表により患者様が特定されることはありません。また、この研究は過去の情報を収集するものであり、研究期間が過ぎていきますので、同意が得られない場合は、この掲示によるお知らせの後、4月15日までに申し出てください。この研究の対象となる患者様から、情報の使用を許可しない旨のご連絡がない場合は、ご同意をいただいたものといたします。皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨床研究課題名

急性期病院内のデイケア（かたらいの広場）の活動を通し、高齢者の認知機能低下が疑われる患者の
ペーシャント・センタード・ケアの実践を目指した取り組み
～ボランティアと認知症ケア委員会との共同～

1. 研究の意義と目的

急性期の看護では入院中の安全が優先されますが、脳の器質的な変化により起こる中核症状（記憶障害、見当識障害、理解力・判断力の低下、実行機能障害など）や行動・心理症状（不安・焦燥、うつ症状などの行動など）に対しては、対応に不慣れな現状があります。この度、個々にあった活動と休息のバランスを図ること、気持ちの変化や行動を理解し急性期看護に活かすことを目的に、院内デイケア（以下かたらいの広場）を設置しました。かたらいの広場に参加された患者様との関わりをとおして、どのような対応が患者様を中心とする最善の方法となるのかを学び、急性期看護に活かすことを目的としています。

2. 研究の方法

脳の器質的な変化により起こる中核症状や行動・心理症状のある患者様で、当院のかたらいの広場に参加可能な病態の患者様に参加していただきます。かたらいの広場でのコミュニケーションやレクリエーションをとおして、どのようなケアが必要かを学び、看護に取り入れていきます。

開催日時：毎週木曜日（※中止することもあります。）

午後2時から午後4時まで

担当者：病棟看護師とボランティア

3. 研究に用いる情報の種類

患者情報（年代、性別、診療科、認知症の特徴である中核症状や行動・心理症状の有無）
院内デイケア（かたらいの広場）に参加中の様子

4. 研究実施予定期間とその参加人数

実施期間：2018年7月12日～2019年1月10日

症例件数：88名

5. 予想される利益および不利益

プライバシーは固く守られ、個人が特定されることはありません。研究への協力は自由意思によっておこなわれ、研究への参加協力ができない場合でも、不利益を被ることは一切ありません。

6. 個人情報の取り扱いと保管について

匿名性を保持し、プライバシーや個人情報の保護に十分注意します。

7. 利益相反について

この研究に係る利益相反はありません。

8. 研究に参加した場合の費用について

この研究は過去のデータを収集するだけですので、あなたがこの研究での費用を負担することはありません。

9. 研究結果の公表について

研究効果は日本農村学会で公表します。

11. この研究に関する情報の提供について

研究の途中や終了後も、研究者はいつでも対応いたします。

11. 研究担当者との連絡先

研究への参加を希望されない場合、また研究に関する質問は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

実施施設名 : JA とりで総合医療センター

研究代表者 : 板倉 紀子

施設住所 : 茨城県取手市本郷 2-1-1

電話番号 : 0297-74-5551

問い合わせの時間 : 平日の午前 8 時半から午後 5 時